

公式LINEで毎号配信

登録キャンペーン
エントリーで5千円相当
が当たる!!
(エントリーフォームは不定期配信)



全厚労ニュース

全国労働組合連合会

〒110- 東京都台東区入谷
0013 1-9-5
TEL 03-3874-3591
FAX 03-3874-3593
発行日 毎月20日
<https://www.zenkouro.org/>

26春闘討論集会

診療報酬プラス改定を受け

未来につなぐ医療・介護へ



学習講演

日本文化厚生農業協同組合連合会
東公敏代表理事理事長



講演する東理事長

医療は住民のものであるというスローガンに最もふさわしいのが厚生連であり、労働組合も、住民や農協と連携して安心の地域医療を共に創り上げていく活動に展望を見出すべきだと語られました。戦前から続く「患者と医療者が一体となって医療を創る」という厚生連の理念に立ち返り、全国の仲間、そして地域の農協と共に課題に立ち向かうよう呼びかけ、講演を締めくされました。

厚生連情報教育事業システム
「厚生連オンラインカレッジ」

医療福祉における
「協同組合アイデンティティ」

講座25分です。ぜひご視聴を!

「診療報酬改定と厚生連医療の展望」



診療報酬プラス改定を生かし 確実な賃上げにつなげよう

26春闘は、物価高騰や他産業との賃金格差拡大を背景に、生活改善ができる水準のベースアップを掲げる必要があります。春闘アンケートでは、生活実感での不足額は4・7万円を超えています。

医療・介護業界が将来にわたって選ばれる職業であり続けるためには、他産業

に見劣りしない賃金体系の構築が急務であることや、全国の病院の約7割が赤字という状況下で、急激な物価上昇や人件費高騰に対応するためには、診療報酬のさらなる引き上げが不可欠です。

診療報酬は6月改定となるため、春闘は長期化が予想されます。全組織が一致団結してこの春闘に臨みましょう。

今年の診療報酬はプラス改定であり、純粹な意味でのベースアップを果たす最大のチャンスです。全組織が「ベア獲得できなければ妥結しない」という覚悟で交渉に臨みましょう。

25秋闘では10月から12月にかけて、41年ぶりとなる全国キャラバンを実施。県

や市町村会への要請行動を通じて、診療報酬引き上げの必要性について共有しました。全国キャラバンは、各都道府県や市町村、行政担当者に直接働きかけ、医療・介護の危機的状況を可視化する重要な役割を果たしました。

住民との対話や署名活動を通じて、「医療は地域のインフラ」という共通認識を広げ、各地での共同体制を強化する契機となりました。

改定の必要性について、自治体と共同で国に迫る足場を築きました。

秋からの取り組みを総括

1月23～24日、姫路キャッスルグランヴィリオにて全厚労26春闘討論集会を開催し（参加者15名、内全厚労役員27名、中央委員37名、傍聴者51名、オンライン参加者含む）春闘を闘い抜くべく春闘方針を賛成多数で確認しました。

統一要求書を提出して行動日に集結しよう

以下の2点を柱とする統一要求書を提出するよう呼びかけました。

1. ベースアップを含む大幅賃上げの実施、働き方など処遇改善による医療・介護の質向上。
2. 地域医療を守るために信頼できる労使関係の構築。

提出期限は2月27日とし、回答指定日は3月11日に設定したうえで、翌3月12日を統一行動日とし、全国で何らかの行動を起こすことを提起。行動内容は各組織に任せていますが、職場集会、街頭宣伝、SNSでの発信などが例として挙げられます。

2日目は職種別に分かれ、グループ討論をおこない、日頃の業務の悩みや組合活動の課題などを話し合いました。（以下抜粋）

（全体）病棟削減の原因として、人員不足や患者数の減少が挙げられるが、現場では高齢化により業務負担は減つていな。回転率だけでなく、患者に寄り添った医療の提供も評価してほしい。

（全体）医療職を目指す若者が減つてあり、特に厚生連の病院が選択されにくい状況がある。病院を選択してもらえるような活動が求められる。

（看護師）看護師不足は深刻で、病棟再編等で人員を確保しているものの、絶対的な不足は拡大している。ICT/DXの導入により業務時間は短縮し、職員満足度を向上させる提案がされた。



真剣に耳を傾ける参加者たち

の常態化といった課題が共有された。

2日目 職種別グループ討論

（リハビリ）低賃金問題の解決のため、ベースアップ獲得が不可欠であるとの意見一致。SNSだけでなく、対面でのコミュニケーションの重要性も再確認された。

（P.T）資格取得へのインセンティブ不足、病院ごとの単位数ノルマの差、サービス残業

（看護師）看護師不足は深刻で、病棟再編等で人員を確保している構造的な問題や、パート職員の待遇の低さが指摘された。タスクシフトがあまり進んでいない現状も課題として挙がっている。

（臨床検査技師）診療報酬制度上、検査を増やすほど赤字になる構造的な問題や、パート職員の待遇の低さが指摘された。タスクシフトがあまり進んでいない現状も課題として挙がっている。

（診療放射線技師）若手職員が抱える問題を相談しやすいよう、横のつながりを作る必要があります。賃金については、職種別手当ではなく医療職全体のベースアップを求めるご意見がまとまりた。

（介護福祉士）処遇改善が行われた後も他産業との賃金格差が依然として大きいことが指摘され、待遇改善、特に賃金の大幅な引き上げがなければ、人材不足は解消されないとの意見が出された。

（事務職）ベースアップに関する情報共有が行われた。特に、長野県では長らくベースアップがなかつたが、他県では3年連続で実施されている例もあり、衝撃を受けたとの声があつた。

頑張る仲間

各県この人



熊谷 茂木拓未さん

熊谷総合病院に勤務して4年目になる理学療法士です。現在は循環器チームに所属し、心疾患を抱える患者さん一人ひとりに寄り添ったリハビリテーションに取り組んでいます。まだ目立った資格はありませんが、日々の臨床を大切にしながら勉学に励み、知識と技術の向上を目指しています。

組合活動については学ぶ途中ではありますが、仲間とともに理解を深め、少しづつ関わりを広げていきたいと考えています。



香川 久保勇樹さん

香川県瀬戸内市立瀬戸内総合病院で介護士として勤務している久保勇樹です。今期より副執行委員長をさせていただいている。日々、患者さん一人ひとりに寄り添い、安心して療養生活を送っていただけるよう心がけて業務に取り組んでいます。

趣味の釣りやキャンプ、バイクなどのアウトドアを楽しみながら、昨年子どもが生まれ家族が増えたことを励みに、「責任を持ちしっかり働く」気持ちを大事しています。

四役としてまだまだ未熟ですが少しでも仲間の力になれるよう一層頑張っていきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第213回は熊谷・香川にお願いしました。

6月に非正規職員も組合に加入できるよう規約を変更しました。徐々に非正規の方が加入してくれ、今まで分からなかつた当事者の切実な声を把握できるようになってきました。この声を経営陣や国に届けていきたいです！

—今まで声を出せなかつた人たちを仲間にできることは大きな力です。医療業界全

体で取り組みたいのです。

(H-T)

全国キャラバンの活動が静岡県で必要だと思う。
—全国キャラバンの取り組みはとても良かったと思います。賃上げに向けてみんなで協力して頑張って訴えましょう！

(K-U)

賃上げはほとんどしないのに物価高で生活が苦しく、大変です。地域の医療はもうそろの火が消える寸前なのではないでしょうか。

(秋田)

—私も運動不足解消に夜のさんぽを心掛けています。サボってしまう時もありますが、少しでも体を動かすと気分が良いですね。

(E-N)

心の相談室を読んで、わざといつもより遠い店に行く…は難しいですが、スーパーでいつもより遠い駐車場に停める事ぐらいはできそうです。自分でご褒美を楽しみに、この冬は頑張ります。

(富山)

—そのうそくの火を絶やすぬよう逆に火を大きくする機会になつたと思う。各新聞社や地元テレビなどで取り上げられるほど更に勢いをつけ、現状を全国に訴え続ける活動の継続が必要だと思う。

(岐阜)

—そのうそくの火を絶やすぬよう逆に火を大きくする機会になつたと思う。各新聞社や地元テレビなどで取り上げられるほど更に勢いをつけ、現状を全国に訴え続ける活動の継続が必要だと思う。

(A-K)

地震の備えも医労連共済

能登半島地震発生から2年が経過し、いまだ復興には程遠い現地の実態が報道されています。

医労連共済だけでなく民間保険でも、火災の基本契約だけでは地震被害への支払いはありません。被害が火災によるものでも、その発生原因が地震の場合は火災の基本契約だけでは対象外となります。万が一に備えて火災共済には地震特約をつけることをお勧めします。

地震特約の掛金は、火災共済の基本契約掛金と同額になります。例えば、木造40坪の建物で満口加入の場合、基本契約の月掛金は1千4百円で、地震特約も1千4百円となります。全国どこでも掛金は同額です。地震に関する保障は通常の火災と違って、全壊の場合で1口3万円・建物と家財を合わせて9百万円が限度額になります。



労働組合用語集

要求書：組合員の要望する内容をまとめて書きつづった文書。春闘等で経営者に提出する。

回答期限日：労働組合が要求書を提出し、この日までに回答を行うよう求めた日。(回答指定日ともいいます)

まちかど珍画報 カクイシ・シユンスケ



暴走する馬車馬か

今月はキーワードクイズ♪

【問題】全厚労・西日本ブロックが広島駅前で集めました。安心・安全の医療・介護の実現のため夜勤規制と大幅増員を求める国会請願○○。

答え『しょ□□』

紙面をヒントに答え(4文字)を、右QRコードまたは下記あて先へお送りください。

現状維持が大変なのに、国は今回の方針で病院収益が回復し職員の賃金アップにつながるとでも思つていいのか…。(O-G)

教宣部のつぶやき

診療報酬アップが基本方針として決まつたが、たった数パーセント。消費税率についても依然として患者へ転換できない仕組みのまま。食料品などここ数年で何割と値上げになつていても、かかわらずだ。

当選者（読者の声掲載者含む）15名様に図書（クオ）カードを差し上げます
答えと本紙の感想などを添えて下記あて先へお送りください。
当選の結果は発送をもつて代えさせていただきます。11月号のクイズ答えは「ヒノコウジ」
で、当選倍率は4倍（クイズ答え、読者の声計15名当選）でした。



